



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

緑地保全 みんなで書きよう

発行
志津南地区自治連合会

事務局：志津南公民館
Tel 563-6206



若草中央公園で行われた左義長

の左義長が1月11日(土)午後2時から4時までの2時間、若草中央公園で志津南地区自治連合会主催で開催されました。

左義長に託す

1年の願いや思い

1月11日 来場者はそれぞれに1年の感謝と願いや思いをどんと託されました。

来場者はそれぞれに1年の感謝と願いや思いをどんとに託されました。

— 2 —

また、子ども会と健康推進員の方が準備してくださいました。熱い豚汁を召し上がりながら懇談されました。

しかし、事前に回覧や C A T V で環境保全とお世話をうながすなど、苦労を考

中に無人の広場に持ち込まれたものも多くマナーの悪さが目立ちました。お世話する気持ちになつて各自が責任ある行動と気配りがあつて欲しいものです。

（責任役員 和田 基）
人の広場に持ち込まれ
も多くマナーの悪さが
ました。お世話する気
なつて各自が責任ある
気配りがあつて欲しい
す。

新役員選出

る平成16年度新常任理事合同の常任理事会を開催しました。

西左近山田明惠雄辻村春美子小岡樹上野祐壯野栄壯祐篠博二橋間本倉琢優廣

新常任理事は、3月14日（日）開催の自治連合会総会ならびに3月27日（土）、28日（日）に開催される各町内会総会で正式に承認されます。新年度の各町内会長は左記の通りです（敬称略）。

記

平成 16 年度志津南地区自治連合会役員名簿

役職名	担当	氏名
会長	広報部	小野栄祐
副会長	夏祭り	大倉清廣
会計	議事録	西岡壮
常任理事	福利環境	上野博
常任理事	交通防犯	橋本優
常任理事	社会福祉	西山明雄
常任理事	体育振興	野間琢二
常任理事	人権推進	左近田恵美子
常任理事	青少年	辻村春樹
会計監査		向出信一
会計監査		崎山達雄

浮かび上がる

町の素顔

20世紀後半の日本を代表する経営者の一人に挙げられる本田宗一郎氏は、徹底した現場主義者であつたと言われて

レ
マ
ス

より豊かな町へ
若草4

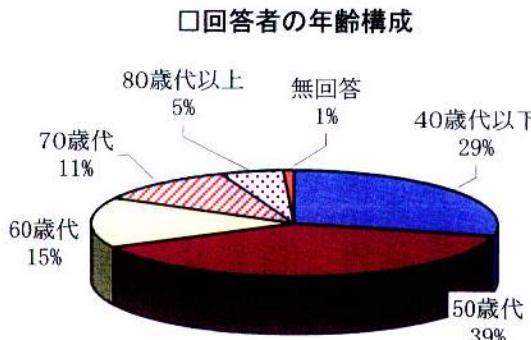
た。そこで若草四丁目では、本年度の「町内学習懇談会」のテーマを、わが町の身近な問題におきかえて学習会を行えば、地域の皆さんのが協力を得て昨年11月にアンケート調査を実施、105軒（全戸109軒）の皆さんから回答をいただきました。

より豊かな 町づくりのために 若草4丁目がアンケート

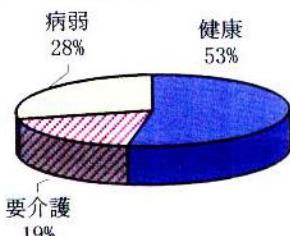
若草4丁目がアンケート

私たちの町づくりも、まず現況を客観的に把握し、そこから問題点を見出します。

九〇九九後漢書卷一百一十一

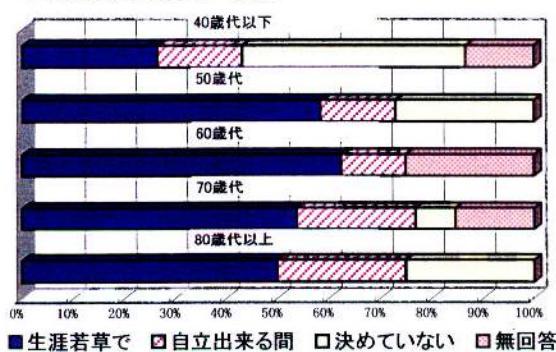


□自分の健康状態(70歳以上)



自立できる間は若草で暮らしたい方を加えると、66%の方が、50歳代以上の方では73%の方が若草で老後もくらしたいと思つておられます。

□将来過ごしたい場所



アンケートは12項目についてお尋ねしました。その結果の主な内容は別項の通りでしたが、四丁目では高齢化が思つたほど進んでおらず、働き盛りが中心の住民構成であることが分かりました。

その一方で、子どもとの同居を望まない住民も多く災害や病気・事故などの緊急時の対応に不安を感じている高齢

者が多いことも数字に表れて
います。

また、50～70歳では「生涯
を若草で」と答えた人が半数
を超え、この町に愛着を感じ
ている人が多いことをうかが
わせています。

このほか、助け合いに必要な個人情報の取り扱いや、防災面などの課題もうかび上かつてきました。

「生涯若草で」が
50代で半数超える

めに地域の特性を踏まえた上で、どんな方策が必要なのか、行政と住民の協力体制を工夫することが、今後の課題となつてきます。

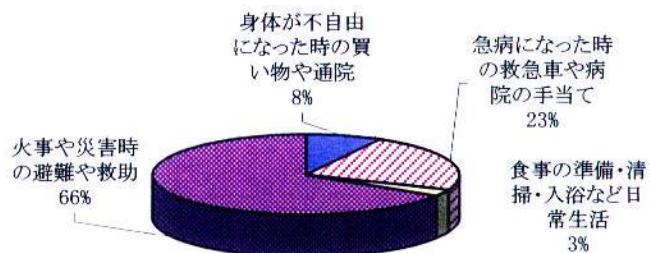
(若草四丁目町内会)

シーやの保護という人権に関わる重い命題をどのようにして解決するのかの糸口をアンケートという手法に求めてみました。

不測の事態に 不安持つ高齢者

核家族化現象を象徴するよう、ご夫婦2人で住みたいという人が圧倒的に多く、子どもの将来を考えると同居は無理、または同居を望まない方が多数おられます。このことから高齢者だけの家庭が増え、お互いに助け合い、支え合うシステムづくりが必要です。特に自然災害や火災などの非常時の助け合いと、急病時の救急処置が圧倒的に多く、対策を要望されている方が90%を占めています。

□現在不安に感じていること(60歳以上)



個人情報の公開

プライバシー保護と 助け合いの兼ね合い

個人情報の開示は70%の方が条件付で開示しても良いと考えておられます。40歳代以下および50歳代の壮年層は高齢者に比べて、老いの実感が薄いためか、プライバシーの保護を優先される方が多いようです。また、条件付で開示できるた。

高齢者になるほど安全を優先して開示項目が多くなる傾向があります。

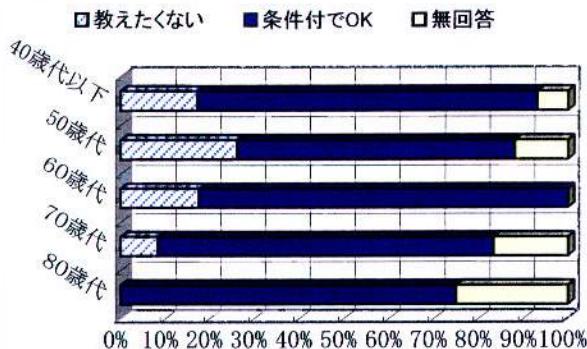
公開の条件については、守りながらも、条件付で開示し向がります。

秘義務を明確にした規則の制定や、一年交代で替わる町内役員制度では、プライバシーの保護は困難と考える方もあります。代案として、新しい制度をつくり町内で人望のあ

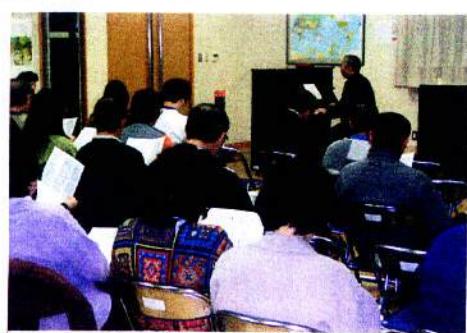
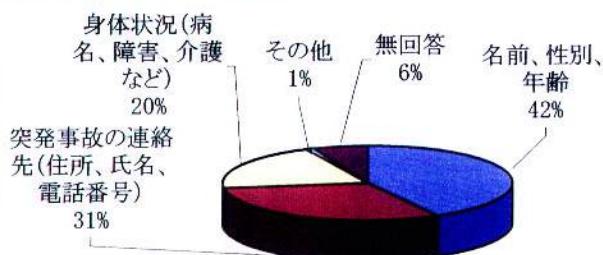
項目は図7の示すとおりです。

70%が条件付きで容認

□プライバシー公開



□条件付開示の場合の項目



ピアノ演奏で人権を語る

域でのコミュニケーションは「あいさつ」からと訴えられました。

こうした不安を少しでも解消するには、顔を合わせたら挨拶が自然に出るような隣人関係を築くために「あいさつ運動」から始めようという提案が多くありました。お互いに声を掛け合うことのできる町ができます。不審者の町内徘徊や強引な戸別訪問を見知らぬ人達の町内での横行を防止する上で、も効果が大きいと思わ

南海地震の発生も予測されおり、防災訓練や地域防災計画の策定などの具体的な要望もありました。大規模災害発生時にとりあえず地域住民が主体となる初動対処のための組織づくりは自治会や町内会の重要な課題でもあります。

同和問題は差別を受ける人の問題ではなく、それを取り巻く私たち一人ひとりの問題で、あらゆる差別を「しない、させない、許さない」町づくりの推進を確認しました。報告会のあと、長田昭吾先生を招き、「うたで考える明るいまちづくり」と題し、家庭では心豊かな子育てを、地域でのコミュニケーションは「あいさつ」からと訴えられました。

歌を通して人権を

町内学習懇談会報告会

志津南地区同和教育推進協議会は、1月24日(土)午後7時から志津南公民館で町内学習懇談会の結果報告会を開きました。

同和問題は差別を受ける人の問題ではなく、それを取り巻く私たち一人ひとりの問題で、あらゆる差別を「しない、させない、許さない」町づくりの推進を確認しました。報告会のあと、長田昭吾先生を招き、「うたで考える明るいまちづくり」と題し、家庭では心豊かな子育てを、地域でのコミュニケーションは「あいさつ」からと訴えられました。



キッズプラザ大阪を訪れた南っ子

キッズプラザ大阪
わんぱくプラザ南っ子

子どもたちが心待ちにしていた、わんぱくプラザ南っ子（ザ南っ子の館外旅行）が、1月17日（土）行われ、寒さを感じさせない元気な南っ子たち65名は8時の集合時間に遅れることなく、バス2台を連ねて小雪の中、キッズプラザ大阪に出かけました。子どもたちはオーナーの「こどもの街」の中を元気いっぱいに走り回ったり、本格的なスタジオでテレビのキャスター やカメラマンになつて、番組をつくつたり、パソコン工房で虫ロボットを動かすプログラミングに挑戦しました。子どもたちはなかなか思っていた。うように動かなくて苦労したり、人が入れる大きなシャボン玉を作つたり、時間を忘れ、色々な体験をしました。

ただけセスし まちづくり情報ひろば
932情報ネット

ご存知ですか？

市民センター 志津南公民館

草津市コミュニティ事業団では、草津のまちづくりに関する情報をインターネットを介して広く全国に紹介している。市内で活躍されているNPO団体、市民活動団体情報はじめ、助成金のQ&Aなど、あらゆる情報満載しています。ぜひ、一度アクセス。ご意見などお寄せください。

http://www.joho932.net

お問い合わせ
(財) 草津市コミュニティー事業団
コミュニティ振興課
Tel 565-0477

日頃から接する機会の少ない地域の高齢者が集う機会にと、町づくり委員会は伊勢神宮初詣のバスツアーを企画、1月16日(金)45名の参加者を募って実施されました。

参加者の多くは、はじめて地域の事業に参加された方が多かったものの、参拝後の昼食時や往復のバスではお互いが和やかに懇談され、休憩時には連れそつて手土産を買われる姿も見受けられ、大きな成果を得ることができました。



伊勢神宮参拝ツアーの参加者

わたしのまちの輝くひとつづくり 地域協働会校立地

地域協働合校交流会
& パワフル交流
2月14日(土)
10時

10:00～16:00
場所：草津まちづくりセンター
展示活動発表コーナー
体験（ものづくり）コーナー

平成15年7月から草津市内の全公民館に市民センターが



市民センターに諸証明申請 に来られた市民の方

また、行政との窓口として、
その他の相談ごとなど、ご遠
慮なく、ぜひ、市民センター
を活用してください。